

令和7年度

鴨島東学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

自ら学びたくなるような魅力ある授業の実践

校長

堀川 昌宏

学力向上推進員

山城 雄児

【各校の取組状況の把握について】

相互の授業参観や校内研修で研究授業を行うなど様々な場面で取組み状況を把握する。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に取り組み、期限内に提出できる。 ●新たに学習した内容と既習内容とのつながりが捉えられず、身につけた基礎的・基本的な知識・技能を応用する場面に課題が見られる。 ●学力の二極化が見られ、苦手を克服できず、学習意欲が低下する生徒もいる。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけ、それを使ってより発展的な内容に挑戦できる。 ・授業の振り返り等を通して、学習内容の理解度を把握するとともに、その向上を目指す。	・生徒の習熟に合わせて、個別最適化した学びを行うために、課題の内容や出題の仕方を工夫する。 ・「めあて」に迫る授業展開を行うとともに、めあてと対応した振り返りを行う。 ・他学年、他教科の教員が相互に授業参観を行い、学校全体で授業改善を実施する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを発表したり、友だちの意見をしっかり聞いたりできる生徒が多い。 ●課題に応じて、資料から必要を読み取ったり、それをまとめる力が弱く、長い文章を読むことも苦手である。 ●自分の考えが相手に伝わるように文章を整えたり、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書いたりすることが苦手である。	・資料から課題に必要な情報を読み取り、順序立ててまとめることができる。 ・読書を通して、長い文章を読むことに慣れ、様々な表現を身に付けることができる。 ・相手に自分の考えが伝わるように表現を工夫するとともに、他者と自分の考えを比較しながらよりよい意見にしようと改善することができる。	・重要な部分に線を引かせるなど情報を的確に読み取る手立てを行う。 ・朝の読書の時間を充実させる。 ・授業において、ペアやグループ活動等を利用して、自らの考えをアウトプットする場面を設定する。 ・ICT機器を活用して、生徒の考えを共有する場面を増やす。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○各授業に真面目に取り組むことができる。また、自主勉強ノートを使って主体的に学習することができる。 ●学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる部分に課題がある。	・授業開始前に準備が整い、チャイムの2分前に着席ができている。 ・習熟の程度に応じて、自分にできることを考え、粘り強く課題に取り組むことができる。 ・各授業において、めあてと対応した振り返りを行い、身についたこと、わからなかったことを把握し、次の学習につなげることができる。	・生徒会活動と連携し、PBSの取り組みを行い、2分前着席を促すことで、落ち着いて授業を開始する。 ・生徒の習熟に合わせて、個別最適化した学習を図る。 ・各授業において、めあてと対応した振り返りを行い、生徒の理解度を確認するとともに、授業改善につなげる。			